

成虫



幼虫



イネカメムシの 適期防除に努めましょう！

令和7年6月

栃木県農政部経営技術課

イネカメムシによる不稔の防止 出穂期防除が必須

気象庁の3ヶ月予報では、高温で経過する可能性が高い

出穂は昨年並みに早まる可能性あり

令和6（2024）年 生育診断基本調査における出穂期
早植コシヒカリ：7月23日 早植とちぎの星：7月28日
普通植とちぎの星：8月13日 ※ 出穂期の日付は昨年の県内平均

気温、降水量の各階級の確率（％）					
気温	関東甲信 地方	06月～08月	10	30	60
		06月	10	30	60
		07月	20	30	50
		08月	20	30	50

■ 低い(少ない) ■ 平年並 ■ 高い

出穂期の被害

不稔で
収量が低下

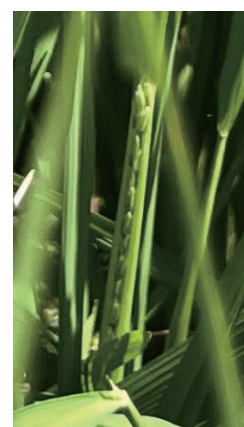


写真 出穂した穂

注 意

葉鞘からわずかでも穂が出ていれば出穂です。
ほ場全体の4～5割出穂していれば出穂期となります。

7月上中旬 →	出穂期	穂揃期	乳熟初期	乳熟後期以降 →	収穫後
(1) 発生初期の把握	(2) 薬剤防除の実施				(3) 耕うん
イネカメムシ 対策	薬剤散布 1回目	7～10日後	薬剤散布 2回目	7～10日後	追加防除 3回目
	不稔 防止		斑点米 防止	斑点米 防止	秋耕
					生息場所 除去

図 イネカメムシの発生地域における斑点米カメムシ類の総合防除対策の体系